

# 平成30年度 事業報告書

大慈ショートステイさくら

## 1. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

## 2. 《平成30年度重点目標》

- ①システムを構築する
- ②スタッフの「満足感」を確立し、人材の確保に努める
- ③遠藤メソッドの推進

## 3. 《部門別重点目標》

### <ケア部門>

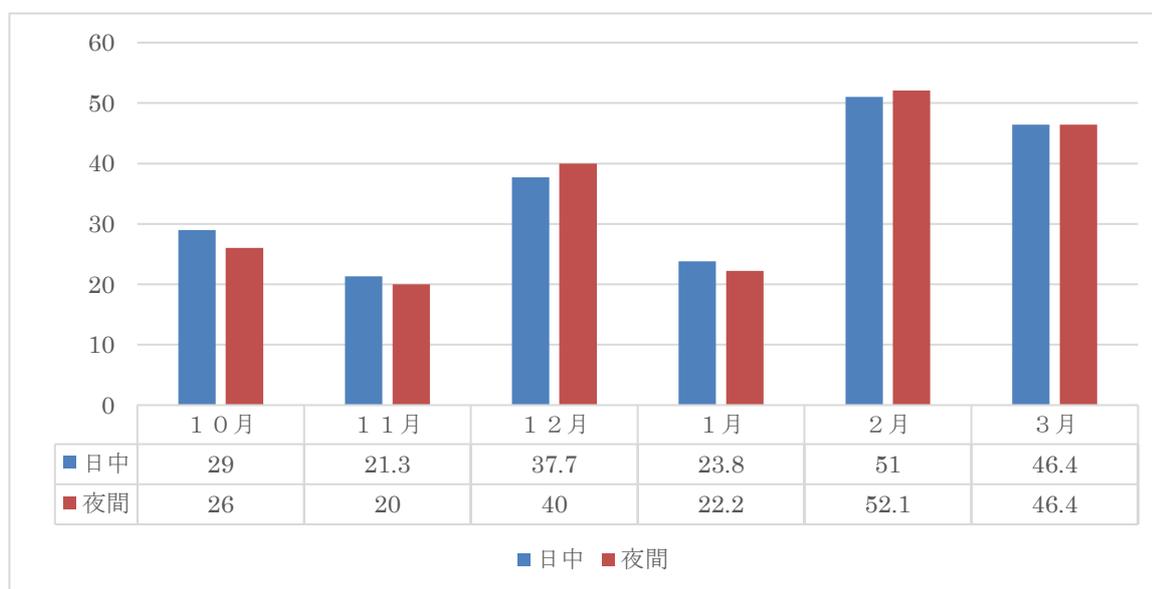
- ①「遠藤メソッド」の推進
- ②余暇活動の充実
- ③チーム力強化（10年後も笑って話せる仲間作り）

①②③ともケアハウス大慈に準ずる。

### <経営部門>

#### ●充足率

平均人数→日中 3.5 人（10 人中）



#### ① リピーターの確保により、経営基盤の安定を図る

- ご本人、ご家族を中心に安心感を持っていただけるよう積極的に関わりを持ちニーズの把握に努める。

契約・面接時における聞き取りを細やかに実施している。スタッフ間で情報共有することで記録にも反映し、対処時には記録をお渡ししている。そのことにより、ご利用中の様子

を把握していただければ「安心します」との声をいただいている。今後もニーズに沿った対応を継続していきたい。

●担当ケアマネジャーとの情報共有を密に行い、信頼関係が構築出来るよう努める。

契約面接時、担当ケアマネジャーも同席のもと実施していることから、入所時の情報が明確になり、三方向での情報の共有がしっかりできている。利用後の様子を伝えること、次回ショート予約時に情報の確認を行うことで信頼関係の構築に繋がり、更に新規のお客さまへの紹介と繋がった。

② 人材確保と育成

老人部門全体で協力し、求人媒体の利用や学校訪問等を実施し人材確保に務める。

ケアハウス大慈に準ずる

<栄養科>  
 <看護部>  
 <理学療法科>

} ケアハウス大慈に準ずる

4. <<職員会議>>  
 5. <<委員会活動>>  
 6. <<避難訓練>>  
 7. <<職員配置>>

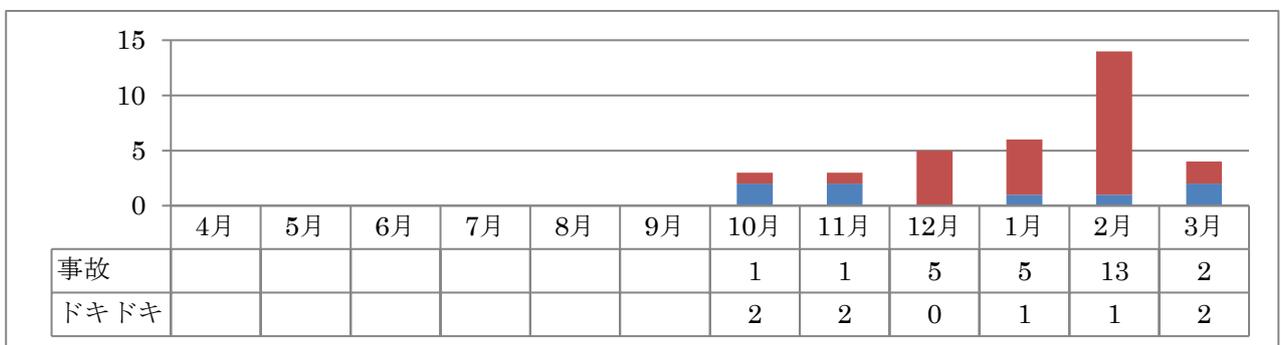
} ケアハウス大慈に準ずる

8. <<リスクマネジメント報告>>

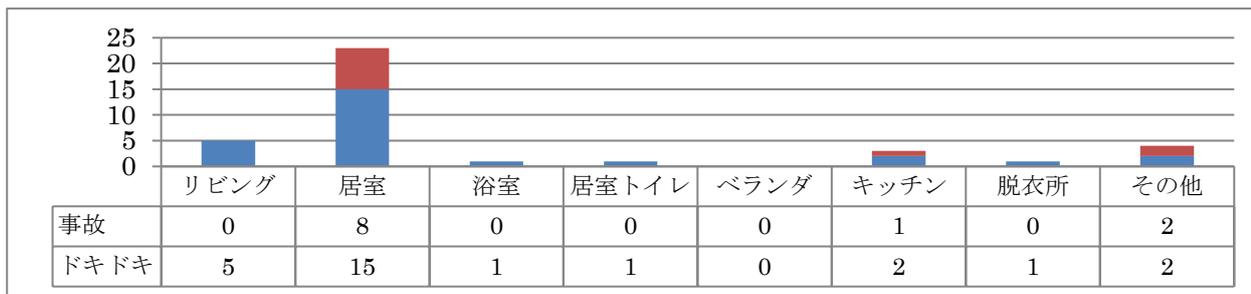
☆事故の定義・・・膝が地面に接地した時点で事故とみなす。

①報告件数

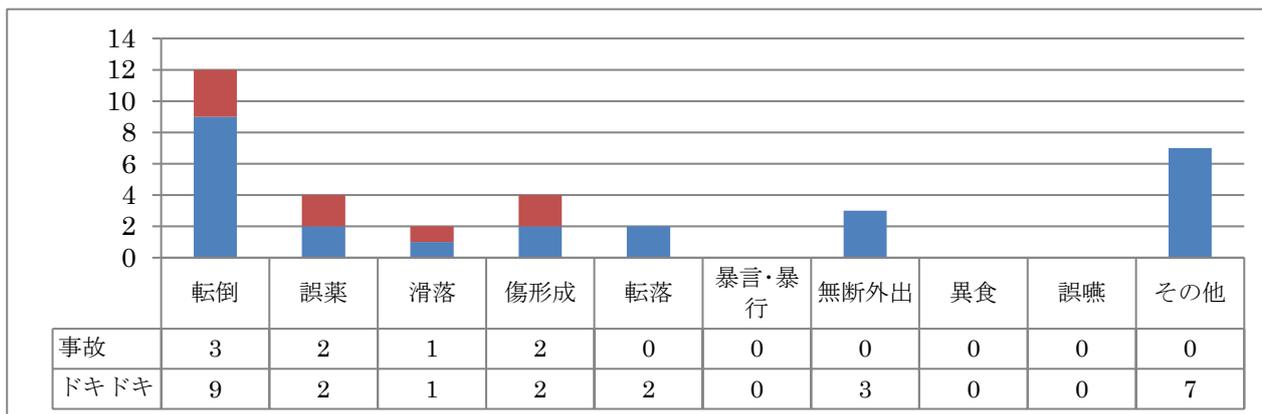
平成30年度			
報告件数	合計件数	事故	ドキドキ
	35件	8件	27件



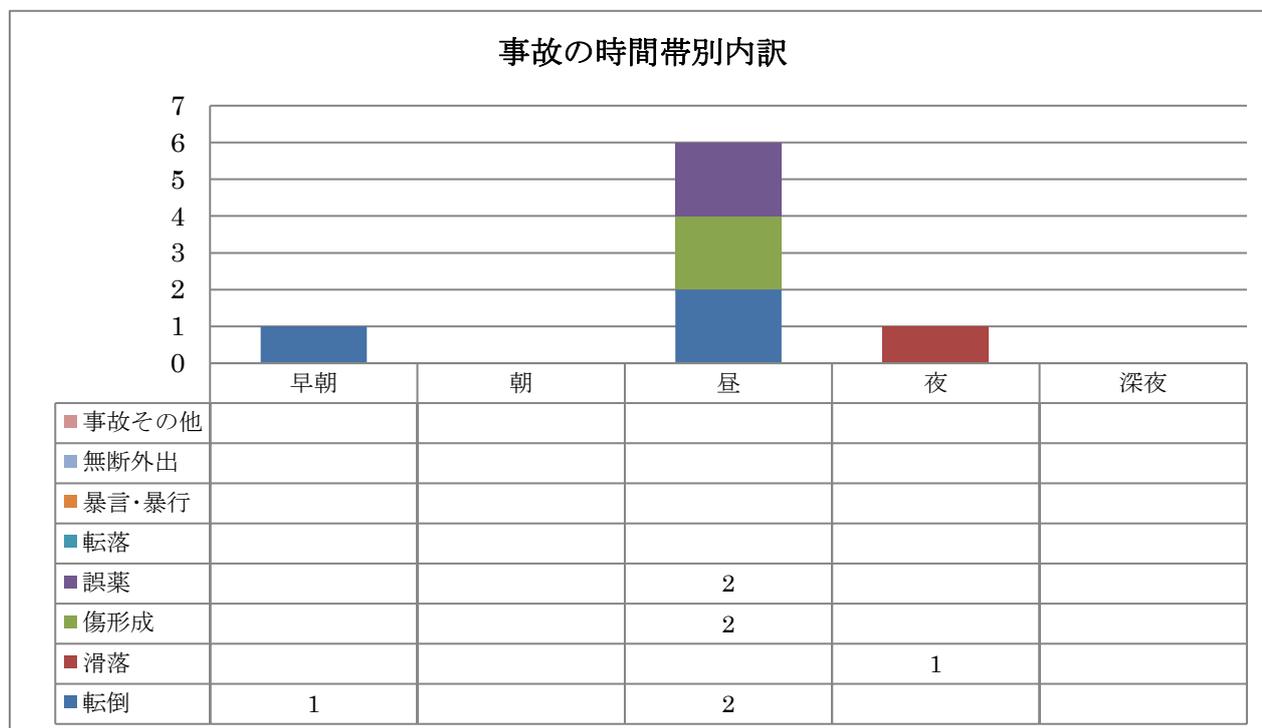
② 発生場所別件数



③ 発生内容別件数



④ 時間帯別件数



●まとめ

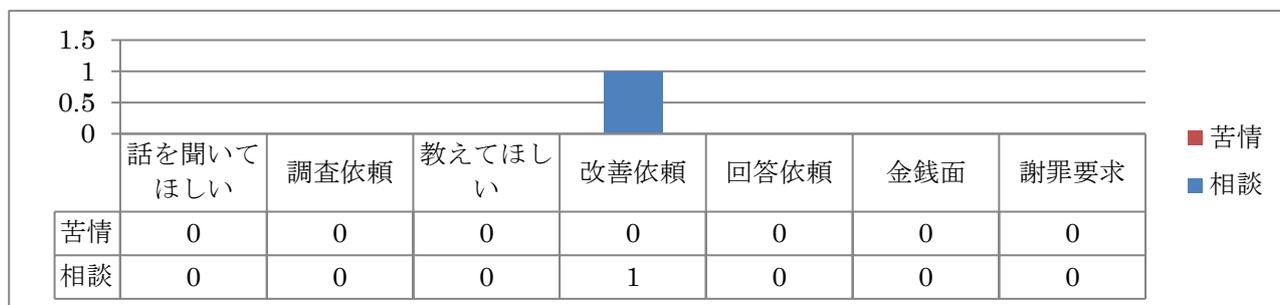
全体的に事故・ドキドキ共に転倒の割合が多い。在宅中のADLの理解が難しく、事故に至るケースがある。次年度は、ご本人はもちろん、ご家族・担当ケアマネージャーからの情報収集を密に行い、安全な環境を整えていけるように取り組んでいく。

## 9. 《苦情・相談結果報告》

苦情の定義→施設長が直接対応した件を苦情とする。

### ●報告件数

30年度			
報告件数	合計件数	苦情	相談
	1件	0件	1件



### ●まとめ

慣れない業務にスタッフも臨機応変な対応が求められる期間であった。結果的に大きな苦情に至らなかった事は評価出来る。反面、相談事を引き出す事が出来なかったとも考えられる為、今後は潜在的なニーズを引き出す事にも注力していきたい

## 10. 《総括》

ショート開設から半年が経過した。目標であった充足率50%には至らなかった。1月中旬から感染症が流行ったこともあり、任意でご利用の有無を伺った結果、キャンセルが多く10日間程利用がなかったことも大きい。また、下半期からの開設と人員配置の難しい時期が重なり、ロングショートを入れにくい状態もあった。まだまだ模索しながらの運営であるが、緊急ショートの対応をすることもできたこと、ショートご利用のゲストからお二人本入所となったケースもあった。次年度の課題として、レクリエーションに力を入れるなど、ショート利用中に楽しみが持てるような取り組みをしていく。また、リピート利用者も増えており、次年度は営業活動を増やし、充足率の向上を図っていきたい。